



なるほどなっくとくニュース

なっくとくの「なるほどなっくとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM

Community Museum
地域の宝 学校の宝



なみだまつ 涙松って何だ？

みなさんは「涙松」を知っていますか？松が涙を流すってどういうこと？と思う人もいるかもしれませんね。実は涙を流すのは松ではないし、人が松を見て涙を流すわけでもないんですよ。今回は涙松についてなっくとくしてもらおうと思います。

涙松があった場所は萩から山口、防府へと続く道「萩往還」の道沿いです。萩の城下町が見えなくなる曲がり角にありました。昭和9年頃の写真には街道松がみえますが、今では松がなく涙松の石碑だけがその場所に立っています。



江戸時代に萩から旅立つ人や萩へ帰る人たちにとって、城下町が見えなくなるこの場所は送り迎えの場所でした。親しい人との別れに涙したり、再び会えたことを喜び涙したりと、この場所ではたくさんの涙が流されたのです。そういった理由から、この近くにあった道沿いの松のことを「涙松」と言いました。



昭和9年頃の涙松跡
山口県文書館蔵

石碑をよく見ると「涙の松のもとにて 帰らじと思ひさだめし旅なれば ひとしほぬるる 涙松かな」という歌が彫られています。もう萩へと帰れないことを悲しみ一人涙する様子を詠んだものですが、この歌を詠んだ人がなんと吉田松陰なのです。吉田松陰が江戸の牢屋へと送られるときに涙松から遠くに見える萩の町を見て詠んだ歌です。みなさんも涙松の石碑で遠くに見える萩の町を見ながら思いを巡らせてみませんか？

